



2月14日 議会報告・意見交換会を開催しました。  
詳細は次号で報告します。

ごあいさつ

三笠市議会議員 武田 悌一

14日に開催しました議会報告・意見交換会においては13名の方々が参加され、貴重なご意見をいただきました。市議会と致しましては市民の皆さまの声を市政に反映させるとともに、公正で透明な市政運営をチェックする重要な役割を担っていますが、社会情勢が大きく変化する中、今まで以上に行政と議会そして市民の皆さまと力を合わせていくことが重要となりますので引き続き「安心して安全に暮らしていけるまちづくり」や「将来に希望の持てるまちづくり」のために真摯な議論を重ねてまいります。

私どもの任期も残り1年2か月ほどとなりました。改選期に備え議員定数を維持するべきか削減するべきか。メリットとして、報酬などの削減やスリム化による効率化、競争が激しくなり質が向上する可能性などがありますが、デメリットとして、議会としてのチェック機能の低下や多様な民意の代表制の低下など、とりわけ行政監視の低下による弱体化や議員1人の負担増のため、調査や政策立案が不十分となる可能性、地域バランスが悪くなることや、若手や民間人の立候補がさらに困難となる、議員数減少に伴う首長権限の増大による議会の形骸化などが挙げられます。削減となれば条例改正を行うタイミングもあり、9月をめどに結論を出さないとなりません。

来月3日の第1回定例会初日において市政執行方針が示され、その後大綱質問が行われる予定ですので、多くの方々に傍聴していただき、議会をもっと身近に感じていただければ幸いです。

### 第4回定例会の概要 (令和7年12月)

■三笠市水道給水条例の改正を可決

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業として、令和8年3月分の水道基本料金の減免を行うための条例改正を可決しました。

■有害鳥獣捕獲器整備事業の補正予算を可決

危険個体（ヒグマ）の捕獲にあたり、適切な場所に速やかに設置し早期に捕獲することを目的に、分割式で運搬しやすい捕獲器を導入するための補正予算を可決しました。

■指定管理者の指定を可決

公の施設の管理を民間に移行することにより、効果的・効率的な運営ができ、民間の活力による独自のサービス提供が期待できるほか、管理に係る経費の抑制が図られるため、公の施設の指定管理者の指定を可決しました。

■物価高騰対応子育て応援手当支給事業の補正予算を可決

物価高の影響が長期化し、特にその影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、児童手当受給者に対し、児童1人あたり2万円を支給するための補正予算を可決しました。

第4回定例会での一般質問  
(12月11・12日)



池田 真志

▼水道事業および下水道事業の運営について

【質問】三笠市の水道管および下水道管の老朽化の現状について、どのように捉えているのかお聞かせください。

【答弁】水道管は令和6年度末で管路延長が146.8kmあり、そのうち法定耐用年数40年を超える管は45.1km、老朽化の割合については30.69%となっています。下水道管の管渠延長は、雨水管が16.6km、汚水管が90.0kmあり、そのうち法定耐用年数50年を超えるものは、雨水管は1.4kmあり老朽化の割合は8.9%、汚水管は法定耐用年数を超えるものはありません。

【質問】第9次三笠市総合計画に新たに搭載された「デジタル技術導入研究事業」の、これまでの進捗についてお聞かせください。

【答弁】デジタル技術の導入について検討しているものは2点あります。1つ目は、水道メーターに通信機能を持たせ、各家庭を訪問せずに検針が可能となる技術で、これまでの取り組みとしては試験的に数軒で水道メーターを取り替え、電波が正常に伝わり水道課

のシステムに届くかどうかの実証実験を実施している段階です。2つ目は、水道管の漏水を人工衛星とAIを活用して漏水箇所を発見する技術であり、開発した事業者から精度、料金面、実際に導入した自治体の事例などについて調査研究を行っている段階です。

【その他の質問】

▼水道および下水道の料金改定の計画について

▼水道事業の広域化について



島山 幸

▼人工知能(AI)について

【質問】今後、市民が利用出来る形態で業務軽減につながるようなAIの活用導入を考えているかお聞かせください。例えば、市のホームページにおいてAIチャットボットの導入の可能性についてお聞かせください。

【答弁】ホームページにAIチャットボットを導入するというところで検討はしてきました。業務の効率化はまず目指すべきところと考えていますが、第一に考えるべきは市民サービスの向上にあると考えています。導入にあたっては、平日昼間以外でも問い合わせへの対応が可能な利点はありますが、AIとはいえ市のホームページからの

回答には正確性が求められます。公式サイトからの情報の提供は住民に混乱を与えるだけではなく市への信頼を損なう形になってしまいます。正確な回答を引き出すためにはホームページ上の膨大な過去のデータを整理する必要があります。多岐にわたる住民ニーズに対応した情報の作成が必要となり、そこにかかる職員の業務負担は避けることができないことから、現状でのホームページの検索機能もあることから導入に至っていないところです。

また導入にかかり経費、維持経費も必要ですので、その点も検討を行いながら費用対効果を考えて導入に踏み切れない状況にあります。導入自治体への調査をしまして引き続き検討していきたいと考えているところです。

【質問】児童生徒への生成AIを活用した相談支援構築の可能性についてお聞かせください。

【答弁】今回ご紹介いただきました奈良県葛城市の生成AIを活用した相談窓口に関しましては、今後の生成AI活用の参考となる事例だと考えます。詳細について確認し、教育分野への生成AIの活用が進んでいく中で国や道の動向を注視して近隣市町村の状況も確認しながら、先行事例を参考に研究してまいります。

【その他の質問】

▼三笠市のPR拠点について(道の駅みかさについて)

▼三笠市かわまちづくり計画について

▼地域公共交通について



浅尾 三吉  
(公明党)

【質問】通勤等交通確保事業の現状をお聞かせください。また、減便されたバスの代替えとしてこの事業が実施されています。市民であれば誰でも乗れるという対象拡大と、高校生からも要望のあった、岩見沢駅の始発に間に合う早朝や、岩見沢発20時頃の便の増便ができないかお聞かせください。

【答弁】本事業は、仕事や部活動で遅くなる通勤通学者などのため試行的に実施しており、10月末現在の登録者は25人で、運行日あたりの利用者は1.4人となっています。公共交通は重要なテーマであると認識しており、現在、本事業の登録者にアンケート調査を実施している最中のため、その結果を参考にしつつ、研究してまいります。

【質問】新病院の建物の概要が示され2年後の開院を待ちわびている市民も多いと思います。ただ、郵便局横の坂道に難儀している市民は、今でもおられます。新病院になり利用も増えることが予想され、さらに、既存の薬局への移動も困難になります。その対応策として、グリーンスローモビリティの導入は考えられないかお聞かせください。

【答弁】グリーンスローモビリティは時速20km以下の低速運転の電気自動車による移動手段で、車両のイメージ



用した支援など、交付額、具体案についての本市の考え方をお聞かせください。

【答弁】子育て応援手当については児童手当受給世帯の受取口座への振込になります。給付時期については本定例会に補正予算を提出できるような現在進めています。重点支援地方交付金については、報道などでお米券が取り上げられていましたが市民全体の家計負担の軽減につながる事業について「食とエネルギー」をポイントに内部検討を進め、主要団体などの意見も伺いながら、できる限り早く事業内容をまとめていきたいと考えています。

【質問】重点支援地方交付金については商品券という形が生活者にとっても市内の事業所などにとっても効果があると考えますが、本市の考え方をお聞かせください。

【答弁】前回の支援について商品券という形で行っており、今回主要団体の中からも商品券との話も一部あったことから参考にさせていただきながら進めていきます。

【その他の質問】

▼ガソリン税の暫定税率廃止に伴う市財政の影響について  
▼建設単価の現状と見直しについて（スライド条項の運用について）

「三笠市議会」で検索するか、スマートフォン、タブレットで下記QRコードから過去の会議録を閲覧できます。



三笠市議会

第1回臨時会の概要

(1月16日)

■三笠市水道給水条例の改正を可決

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業として、令和8年4月分から9月分の水道基本料金の減免を行うための条例改正を可決しました。

■物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の補正予算を可決

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、1人1万5千円分の商品券の配付や水道料金の減免などを行うための補正予算を可決しました。

総合常任委員会 所管事項調査

(2月3日)

■除排雪について

【質疑】生活する上では、雪が少なすぎて非常に楽ですが、除雪に関わる業者の状況はどのようになっていますか。

【答弁】除雪と排雪でそれぞれ最低保障額が設定されています。除雪については、最低保障額以上に執行されると思われませんが、排雪の方については、排雪のほか、雪捨て場の維持や交差点の雪山除去、空き地などに入れた雪を春先に除去する作業などがあり、最低保障額程度になるのではないかと考えています。

【質疑】支出が少なく財政的には非常にありがたいと思いますが、市内経済を考えたときに除排雪の作業が少ないことで、小売店の売り上げ減少や飲食店での

昼食代、家庭用除雪機のガソリン代の減少など各業種で売り上げが上がらず、市内経済への影響があると思えますが、現状をどのように捉えていますか。

【答弁】各業種で売り上げが落ちているというところは肌身に感じていますが、現状については、もう少し雪の状況も見ながら商工会とも話をしていきたいと思っています。

地域振興対策特別委員会

(2月3日)

■市立三笠総合病院について

前回までに引き続き、新病院建設に向けた実施設計の概要や財政面など詳しい資料を基に調査を行いました。

【質疑】造成工事が4月頃に、外構・建設工事が8月頃に着工となつていますが、それぞれの入札時期はどれくらいを見込んでいますか。

【答弁】造成工事は4月の中旬に入札を行う予定です。本体工事は、確認申請の手続き中であり、今後実施設計の図面や内容を精査し6月中にはお示ししたいと思えます。

【質疑】本体の建設工事費と当市の場合の建設単価、病院事業債の交付税算入単価はどれくらいになりますか。

【答弁】本体の建設工事費は55億1千万円を見込んでおり、当市の建設単価は、振興局とも調整中ですが、おおむね84万9千円程度となっております。また病院事業債の交付税算入単価は4月から1㎡あたり85万円に増額される見込みです。

ご意見・ご要望

市議会だよりについて、より分かりやすく、読みやすい紙面づくりのための参考とさせていただきますので、市民の皆さんからの率直なご意見やご要望をお待ちしております。

【問合せ先】三笠市議会事務局

〒068-2192 三笠市幸町2番地 TEL②3194 FAX②7880

▶Eメール [gikai@city.mikasa.hokkaido.jp](mailto:gikai@city.mikasa.hokkaido.jp)

▶ホームページ <https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/assembly/>

議会広報委員会

- 委員長 池田 真志
- 副委員長 青木 康博
- 委員 須河 恵介
- 委員 浅尾 三吉